

銅 賞

私達のヒーロー

加藤 葉

八女市立福島小学校

浄化センターをオンラインで見学させてもらいました。そこで私は、下水って、手を洗ったり、トイレで使った水なんだからくさくて、働いている方々はつらいだろうなと思いました。でも、住んでいる人達のために、大変な思いをしてまで守ってくれる浄化センターで働いている方々はすごいなと思いました。それに、どうして水が大切なのかなと思いました。

わたし達は、みんな水が必要だけど、よごれていたり、きんがたくさんついていたりする水を飲んだら、病気にかかってしまうし、野さいやくだ物なども、水がないとかれて食べられなくなります。人は、えいようがたりなくなって死んでしまいます。それに、人間だけでなく、動物も海や川の魚たちも、水がないと死んでしまいます。だから、生き物も植物もすべて水が必要だということを、学びました。他にも、反応タンクに入っている活性汚泥の微生物がきれいに行っていることが、とつてもびつくりしました。それに、トイレがつまらないように、トイレトペーパーが水にとけるようになっていることが、とても工夫されているなと思いました。

浄化センターで働いている方々だけにまかせてしまうと大変なので、自分達が浄化センターの方々の手助けをしなければいけません。わたしたちに出来ることは、ごみや食べ物を下水にながすと下水管が詰まってしまうからあまり食べ物はのこさずにちゃんと食べたり、は

いすいこうの所にあみをつけて食べ物が入っていかないように工夫していくことです。それに活性汚泥は、油が苦手だから、お皿についた油などはティッシュでふいて洗うなど、自分たち出来ることはどんなやつていこうと思います。こまかいことだけど水はみんなが使う大切な資源だから自分達が出来ることが心掛けていきたいです。それから、私達の命を守り続けてくださる浄化センターの方々、ありがとうございます。みなさんは、私達のヒーローです。